

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)		授業形式						
AM12Z301		早期体験実習 (Introduction to Clinical Practice) *大分を創る科目(Oita Development Course)					導入教育科目 福祉・地域		対面						
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語		その他に使用する言語		担当形態					
必修	1	1	医学部医学科	通年	金1,他	日本語				複数(共同)					
担当教員	氏名 山本恭子 E-mail kyoko-yamamoto@oita-u.ac.jp 内線 6741														
授業の概要	医師のプロフェッショナルリズムを認識し、医師になるために必要な今後の学修を行う意欲・意義を認識するための早期医療体験実習である。１．大分大学医学部附属病院早期体験実習：大学病院での最先端医療見学し、チーム医療の中での医師の役割を認識する。具体的には２９診療科（２２編成）の１つを体験実習する。２．学外病院・施設での介護等体験実習：病気が障がいからの回復・社会復帰をサポートする大分県内の中核病院で多職種連携のチーム医療を体験する。別府発達医療センター、国立病院機構西別府病院、別府リハビリテーションセンター、オアシス病院のうち１ヶ所で体験実習する。なお、新型コロナ等の感染拡大状況により体験実習の内容を変更することがある。														
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)		1	2	3	4	5	6	7
目標1	社会から信頼を得る上で必要なことを常に考え行動する。											○			
目標2	患者を含めた他者に思いやりをもって接する。							○			○				
目標3	言語的コミュニケーション技能を発揮して、良好な人間関係を築くことができる。							○							
目標4	非言語的コミュニケーション(身だしなみ、視線、表情、ジェスチャー等)を意識できる。							○							
目標5	患者や家族の精神的・身体的・社会的苦痛に十分配慮できる。							○							
目標6	病院・診療所・施設等の職場環境やチームや部門等の所属に応じた他職種の役割を理解している。										○				
目標7	学修・経験したことを省察し、自己の課題を明確にできる。													○	
目標8															
目標9															
目標10															
各DPへの関連度(計10)								6		2		2			
授業の内容															
1	大分大学医学部附属病院早期体験実習														
2	学外病院・施設での介護等体験実習														
3	体験発表会														
4															
5															
6															
7															
8															
9															
10															
11															
12															
13															
14															
15															
ラック・ユニット・イン・オブ	A:知識の定着・確認	○	今後の生涯学修を行うスタートラインに立った新入生の「知識の定着・確認」「意見の表現・交換」の活動を促進する実習と考えるが、実際の現場実習であるので、少ないながら「応用志向」「知識の活用・創造」も実践できる。				工夫その他の	大学病院では、屋根瓦方式の教育をとり、指導医・上級医だけでなく、研修医、医学部上級生からの指導も受け、双方の教育・学修効果を上げる。学外病院でも看護チームメンバーとして活動し、マンツーマンでの指導が行われている。							
授業時間外学修の内容と想定時間	準備学修	派遣される大学病院診療科および学外病院・施設でどのような医療が行われているかを事前に把握するために、HP等を参照し事前学修をおこなう事。(５時間) http://www.med.oita-u.ac.jp/meded/0726005.pdf を参照する事。													
	事後学修	学外実習終了後、経験した実習体験を共有し、教育・学修効果を上げるために、体験発表会を実施する。また、自らの体験をレポートとして提出する。(10時間)													
	想定時間合計	15													
教科書	医学教育モデルコアカリキュラム(令和4年度改訂版) https://www.mext.go.jp/content/20221226-mtx_igaku-000026778_00001.pdf														
参考書	１．医政発第0726005号「医師法第17条、歯科医師法第17条及び保健師助産師看護師法第31条の解釈について」 http://www.med.oita-u.ac.jp/meded/0726005.pdf ２．大分大学医学部附属病院外来案内および大分大学医学部附属病院HP ３．別府発達医療センター 国立病院機構西別府病院 別府リハビリテーションセンター 井野辺病院のHP														

成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	実習レポート	30%							○			
	体験発表会の発表内容	20%	○	○	○	○	○	○	○			
	実習先病院の評価	50%	○	○	○	○	○	○	○			
注意事項	大分大学医学部学生という自覚の下に(1)各施設の業務の支障とならない様に指示に従う(2)実習中の患者・入所者の情報を口外しない(守秘義務)(3)時間厳守(5分前集合)(4)実習時は仲間同士の私語及び不用意な発言は慎む(5)新型コロナウイルス等の感染状況により実施内容が変更される場合がある											
備考	事前に配布する、医師法第17条に関する文書「医政発第0726005号」を良く読み理解しておくこと。 http://www.med.oita-u.ac.jp/meded/0726005.pdf											
リンク	医師法第17条に関する文書「医政発第0726005号」 URL http://www.med.oita-u.ac.jp/meded/0726005.pdf											
担当教員の 実務経験の有無	○											
教員の 実務経験	全ての教員は、医師・看護師、薬剤師、臨床工学士、理学・作業・言語療法士などの国家資格及びそれに準ずる資格を持ち医療現場での実務者である。											
教員以外で 指導に関わる 実務経験者の有無	○											
教員以外 の指導に関 わる実務経 験者	全ての指導担当者は、医師・看護師、薬剤師、臨床工学士、理学・作業・言語療法士などの国家資格及びそれに準ずる資格を持ち医療現場での実務者である。											
実務経験を いかした教 育内容	教科書に書かれている内容だけでなく、実際の現場で得られる真理があることを認識できる良い機会と考える。											